



おはなしひろば

鹿沼市立図書館栗野館発行 TEL85-2259

2021年

12月号



まざあぐうす 編集

子どもが物語を聞いているときは、登場人物になりきって、想像の世界を自由に楽しめます。登場人物のうれしさや悲しさ、痛みなど、さまざまな気持ち にふれることで、他人の感情や思いを知ることができます。物語の中で、いろいろな世界を体験することにより、想像力などを身につけていきます。ぜひステキな本や友達と出会い、ほんの楽しみを共有しませんか！



12月～1月の予定



土曜日の午前10:30～ 楽しい手遊びや工作もあります。

月 / 日	絵 本	紙 芝 居
12月4日	おはいんなさい えりまき	てぶくろをかいに
12月11日	まざあぐうす人形劇『おちびぎつね』	
12月18日	ほんとうのクリスマス	なぜ、クリスマスツリーをかざるの？
12月25日	もちづきくん	おしょうがつのおきやくさん
1月8日	十二支のしんねんかい	おもちのもっち
1月15日	むかしむかしとらとねこは	きかんしゃぼっぼくん
1月22日	とらとほしがき	まめっこぼりぼりおにはそと
1月29日	だるまちゃんにとらのこちゃん	ねずみのまめまき



クリスマス人形劇



12月11日(土) 11:00~12:00

2階視聴覚室にて 定員20名(11/16~11/30受付)

人形劇「おちびぎつね」

& お楽しみパネルシアターなど

*コロナ禍の為予約制です。

みにきて
ね!!



おすすめしますステキな絵本

大人も始めよう！ 寝る前5分の絵本習慣

絵本は子どものためのものと思いませんか？ 実は大人になってからあらためて読むと、癒やされたり、感動したり、新しい発見があったりと、子どものころとは違った楽しみ方ができます。また、絵本から得たことがビジネスの現場で役立つ側面も！ ぜひ、試してみてください！

寒い冬だからこそ味わえる「ほっ」とする瞬間。ぬくぬく、冬に温かくなる絵本です。



心が温まる絵本紹介

『てぶくろをかいに』



福音館書店
作/新美南吉
絵/黒井 健
とても寒い冬の夜、子キツネが手袋を買いに出かけます。

お母さんキツネに片方の手を、人間の子供の手に変えてもらったのですが、子キツネはドキドキして反対のキツネの手を、お店のお爺さんに見せてしまいました。そして…

新美南吉がその生涯をかけて追求したテーマを黒井健が絵本化。

『ちよろりんのすてきなセーター』

福音館書店
作/絵



降矢なな
寒がりやのちよろりんは、ある日町で春のはらっぱ色のセーターを見つけます。

手に入れるために、がんばってお金をためるちよろりん。

ところが、店にかけつくと、それはとかげ用ではなく……。心まで暖かくなるとかげのちよろりんの物語。



『ゆうかんなアイリーン』

ウィリアム スタイグ
セラー出版

熱を出したお母さんの代わりにドレスを届けるアイリーン。吹雪の中、出かけていく。それだけでも勇気のいること。アイリーンの



勇敢さを支えるのは、誠実でありたいという気持ち。そして、愛情。雪の中、ドレスの大きな箱を抱えて進むアイリーン。

自分の進む道が暗く思えたら、アイリーンに会いにおいで。きっと、はにかんだように微笑んで、勇気を分けてくれるから。

『七ふくじんとおしょうがつ』

作/山末やすえ

絵/伊藤美貴
教育画劇



お年玉で宝船の凧を買ったらなんと宝船に乗った七福神が

やってきてとしがみ様は鏡餅にやどる、まるいおもちゃがおとしだまだったことおもちゃやさいざったににたのがぞうになるほど！ 新しい力がいただけるのだ(なるほど)昔の人の願いが詰まっているのですね)

お正月を楽しく過ごして、又元気ががんばって生きていこうと力をもらえるお話です。



『おでんおんせん』

佼成出版社

作/中川ひろたか
絵/長谷川義史



「こんどのれんきゅう、おんせんランドでもいこうか」登場した

のは、さつまあげのおとうさん、たまごのおかあさん、おすこのばくだんくん、とおなじみのおでんの種。

えっ、おでんがおんせんに？

その設定だけですでにワクワクしてしまいます。ユーモア絵童話です。



『トントントンをまちなしよ』

ひさかたチャイルド
作/あまみきこ
絵/鎌田 暢子



夕方から降りだした雪をみて、お母さんはあわてて甘酒を作りだしました。

「こんなにいっぱい甘酒、誰が飲むの？」みこちゃんが不思議に思って聞いたとき、誰かが玄関のドアをトントントン…。思いやりに満ちたやさしい世界を描きます。

